

指揮 ユージン・ツィガン
Eugene Tzigane, Conductor

この運命を
超克して
いくための、
力と、自由と、
愛と、意思を。

©野口博(フラワーズ)

1/31 2026
[土] 14:00開演 13:00開場
東京芸術劇場 コンサートホール

2:00 p.m. Saturday, 31st January, 2026
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S席¥7,500 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000
C席 ¥4,000 U25 ¥1,500

チケット発売日：会員先行発売10.10(金) 一般10.17(金)
[ご予約・お問い合わせ] パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク
03-6206-7356(平日10-18時)

グリーグ：「ペールギュント」組曲 第1番 作品46

Grieg: Peer Gynt Suite No.1, Op.46

R.シュトラウス：「ばらの騎士」組曲 作品59

R.Strauss: Der Rosenkavalier Suite, Op.59

ムソルグスキー(ラヴェル編)：展覧会の絵

Mussorgsky (arr. Ravel): Pictures at an Exhibition



伝統に「革新」を取り入れる。ppt.or.jp

主催：一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

今年度最後の定期演奏会は、ユージン・ツィガンの指揮。アメリカ人の父と日本人の母のもと、1981年日本に生まれた彼は、ジュリアード音楽院とストックホルム王立音楽大で学び、2008年ゲオルク・ショルティ国際指揮者コンクール第2位等を受賞後、北西ドイツ・フィルの首席指揮者等を経て、2023年からクオピオ響の芸術監督を務めている。フランクフルト放送響、ベルリン・ドイツ響、リンツ・ブルックナー管等にも客演。日本では都響や京都市響で好評を博している。

今回はまず、活力とエレガントさや正確さを併せ持つと評される彼が生み出す音楽が注目点となる。しかも「ペールギュント」「ばらの騎士」「展覧会の絵」が並んだ演目がまた食指をそそる。どれも物語性や描写性に溢れた作品だけに、その語り口が興味深いし、何よりポピュラーな管弦楽曲揃いである点が大きな魅力。かくもメロディアスでカラフルな名曲ばかりが続くプログラムは滅多になく、会場に身を置くだけでオーケストラの醍醐味を味わえること間違いなしだ。

柴田克彦(音楽評論家)

©野口博(フラワーズ)



ユージン・ツィガン 指揮

EUGENE TZIGANE

2023年よりクオピオ交響楽団の芸術監督・首席指揮者を務める。これまでに、北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者、ボメラニア・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を歴任。自身のブログ「ロマンティック・リベリオン」では芸術を取り巻く現状を見直し、超知的主義から感情や情緒への転換を提唱している。そのタクトは、不完全さの中にある美や真の人間の表現を19世紀のスタイルによって蘇らせ、再び佳品に吹き込んでいく。近年のハイライトは、ブラハ・フィルハーモニー管弦楽団およびブラハ交響楽団とのドイツ・オーストリア・ツアーのほか、シュターツカペレ・ワイマル、ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団、ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団、ロイトリンゲン・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団、MDR交響楽団、ボン・ベートーヴェン交響楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団等への客演がある。2024年11月、イル・ド・フランス国立管弦楽団とのブルックナー交響曲第7番でパリ・フィルハーモニーに登場し、絶賛を博した。これまでに、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブラハ・フィルハーモニー管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団、スウェーデン王立歌劇場管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ヘルシンボリ交響楽団、イエグレ交響楽団、ノールランド歌劇場交響楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団、オーフス交響楽団、ビドゴシュ・フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア国立コシツェ・フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラを指揮している。2007年フィテルベルク国際指揮者コンクール第1位&聴衆賞、2007年マタチチ国際指揮者コンクールおよび2008年ゲオルク・ショルティ国際指揮者コンクール第2位を受賞。ジュリアード音楽院でジェームズ・デブリーストに、ストックホルム王立音楽大学でヨルマ・パヌラに、アスペン・アメリカ指揮アカデミーでデイヴィッド・ジンマンに師事し、シモネ・ヤング、ロジャー・ニーレンバーの指導のもと学ぶ。

パシフィックフィルハーモニア東京 管弦楽

PACIFIC PHILHARMONIA TOKYO

1990年に設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、音楽鑑賞教室、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活動。また2017年からポップス定期演奏会を開催し、アニメ・ゲーム音楽など各界のアーティストと共演を続けている。2018年からは楽団誕生の地である練馬で練馬定期演奏会を開催し、地元に根差した活動も行っている。2022年4月には飯森範親が音楽監督に就任し、さらに楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称して、更なる飛躍を目指す。音楽監督/飯森範親、指揮者/園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー/藤原いくろう

チケット [全席指定 消費税10%込]

S席¥7,500 / A席¥6,000

B席¥5,000 / C席¥4,000 / U25¥1,500

※U25はPPTチケットデスクのみ取扱

ppt.or.jp

パシフィックフィルハーモニア東京

03-6206-7356 PPTチケットデスク(平日10-18時)



プレイガイド

☐ イープラス
eplus.jp/



☐ チケットぴあ
t.pia.jp/ [Pコード] 290-171



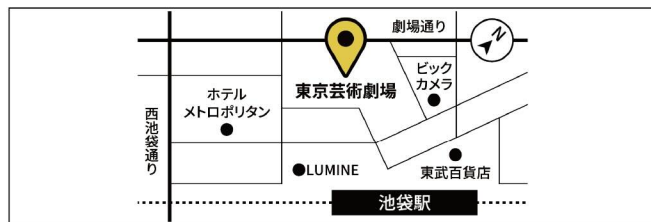
☐ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (ナビダイヤル)
＜受付時間＞10:00-19:00 (休館日を除く)

割引

- ☐ 定期会員割 10%OFF
- ☐ シニア割(60歳以上) 10%OFF
- ☐ ユニバーサル割 10%OFF

※ 未就学児の入場はご遠慮ください
※ やむを得ず出演者・曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

会場



東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
池袋駅(JR・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線/東武東上線/西武池袋線)
西口徒歩2分 駅地下通路2b出口と直結

パシフィックフィルハーモニア東京の最新情報や
公演活動については、公式HP・SNSをご覧ください。



WEB



X(旧Twitter)



Instagram



Facebook

※ 転売は固くお断りいたします。
※ 公演中止の場合を除きキャンセル・払い戻しはできません。